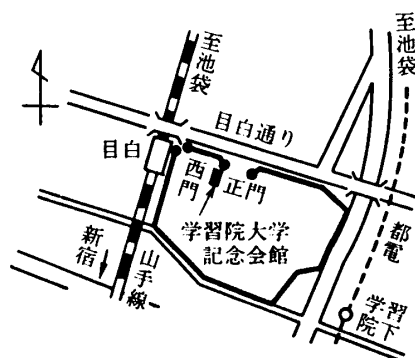


● 昭和 62 年度人工知能学会全国大会 (第 1 回) ●

第 1 回人工知能学会全国大会を下記のような内容で開催いたします。

- (1) 会長記念講演
- (2) 特別講演
- (3) パネルディスカッション
- (4) 一般応募講演
- (5) チュートリアル講演



詳細はv ページからのプログラムを参照下さい。

期 日 昭和 62 年 6 月 30 日 (火) ~ 7 月 2 日 (木) 9 : 00 ~ 17 : 00

場 所 学習院大学・記念会館 (東京・山手線・目白駅下車 3 分, 大学正門から入ってすぐ)
東京都豊島区目白町 1-5-1 TEL 03-986-0221

全国大会参加費 (3 日間で)

会 員 8,000 円
非 会 員 12,000 円
学生会員 4,000 円

* 論文集代を含む。

チュートリアル参加費 (1 日分, ただし [] 内は 7 月 1 日分)

会 員 6,000 円 [4,000 円]
非 会 員 12,000 円 [8,000 円]
学生会員 3,000 円 [2,000 円]

* テキスト代を含む。

懇 親 会 6 月 30 日 (火) 全国大会終了後に予定 (参加費 4,000 円, 当日受付)。

申込・送金方法

- (1) 申 込 先 〒105 東京都港区芝大門 2-3-14 一松ビル 1 号館 402
人工知能学会全国大会 (第 1 回) 事務局 TEL 03-433-2544
- (2) 現金書留の場合 申込書 (会告 xi ページ) に必要事項を記載のうえ, 参加費と共にお送り下さい。
- (3) 郵便振替の場合 東京 4-156556 口座名「人工知能学会大会」
振替用紙の通信欄に, 申込書と同じ事項を御記入下さい。(本誌綴込みの振替用紙は会費納入用で口座名・番号が違いますので, 大会申込みは郵便局備え付けの振替用紙を御使用下さい。)
参加者の個人名は必ずお書き下さい。この場合は申込書の送付は不要です。
- (4) 現金書留, 郵便振替いずれの場合でも, 折返し, 参加券と領収書を送ります。
- (5) 受付は大会当日もいたしますが, 人数によっては締め切ることもありますので, なるべく 6 月 15 日 (月) までにお申し込み下さい。なお, チュートリアルの定員は先着 100 名 (1 日につき) です。

論 文 集 当日会場でお渡しします (欠席の方には全国大会終了後郵送)。

論文集のみ希望のかた 会 員 8,000 円
(全国大会終了後郵送) 非会員 12,000 円

主 催 人工知能学会

〒151 東京都渋谷区上原 1-32-19-201 TEL 03-485-6641

協賛学会 オフィスオートメーション学会, 化学工学協会, 画像電子学会, 計測自動制御学会, CAI 学会, 情報処理学会, 精密工学会, 石油学会, テレビジョン学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本医療情報学会, 日本 ME 学会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本経営工学会, 日本建築学会, 日本自動制御協会, 日本ソフトウェア科学会, 日本認知科学会, 日本ロボット学会。

● 人工知能学会定期総会開催のお知らせ ●

下記により人工知能学会定期総会を開催致します。会員の方は御出席下さい。

場 所 学習院大学・記念会館

日 時 昭和 62 年 6 月 30 日 (火) 12 : 10 ~ 12 : 40

(昭和 62 年度人工知能学会全国大会 A 会場)

● 学術研究集会のお知らせ (本学会共催) ●

第 1 回インテリジェント FA シンポジウム

主 催 日本自動制御協会

期 日 1987 年 7 月 21 日 (火) ~ 23 日 (木)

会 場 大阪マーチャンダイズマート (OMM) ビル [大阪]

問合せ先 〒606 京都府京都市左京区河原町 14 番地 近畿地方発明センタービル内

日本自動制御協会 インテリジェント FA シンポジウム係

TEL 075-751-6413

人工知能の産業応用国際ワークショップ

[International Workshop on Artificial Intelligence for Industrial Applications]

主 催 IEEE/IES および計測自動制御学会

期 日 1988 年 5 月

場 所 茨城県日立市

論文締切 1987 年 10 月 20 日 (火)

問合せ先 〒319-12 茨城県日立市久慈町 4026 番地

株式会社日立製作所 日立研究所 第 10 部 平沢宏太郎

TEL 0294-52-5111

第 11 回 COMPSA 国際会議

[The 11th Annual International Computer Software & Applications Conference]

主 催 IEEE Computer Society および情報処理学会

期 日 1987 年 10 月 5 日 (月) ~ 9 日 (金)

会 場 高輪プリンスホテル [東京]

問合せ先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

社団法人情報処理学会

TEL 03-505-0505

第3回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム

主 催 計測自動制御学会

期 日 1987年10月27日(火)~29日(木)

場 所 大 阪

発表申込締切 1987年5月1日(金)〔論文講演〕, 7月1日(水)〔一般講演〕

問合せ先 〒560 大阪府豊中市待兼山町1-1

大阪大学 基礎工学部 制御工学科

TEL 06-844-1151 (内) 4471

宇宙人工知能・ロボット・オートメーションシンポジウム

期 日 1987年11月9日(月)~10日(火)

会 場 日本都市センター [東京・千代田区]

発表申込締切 1987年6月15日(月)

問合せ先 〒151 東京都渋谷区上原1-32-19-201

人工知能学会 事務局

TEL 03-485-6641

'87人工知能(AI)展

主 催 日本経済新聞社

期 日 1987年7月6日(月)~9日(木)

会 場 東京流通センター 第1展示場 [東京]

● 「人工知能システムの枠組み」シンポジウム論文募集 ●

人工知能は新時代の知的情報システム作成の基盤技術として大きな期待が寄せられています。人工知能システムは明示的な知識に基づくため知識システムとも称されます。ここ数年、知的あるいは高度情報処理を目指すエキスパートシステム、自然言語や画像の理解等の人工知能システムの研究開発が進められてきました。しかし、それらが実用域のシステムに発展するためには、これまでの幾つかの開発の経験の蓄積をふまえた上で、新しい枠組みが必要と考えられます。

本シンポジウムは、従来の情報処理技術と異なるどのような人工知能システムの新たな枠組みが必要なのか、従来技術との共通点は何か、真の実用化のために今日の人工知能システムの枠組みに欠けているものは何かなどを問い、今後のアプローチの方向を見出すことを目的としています。このためサブテーマとして、知識の高次利用と学習、知能処理のシステム化技法、知的インタフェースを設け、理論と実際の両側面から研究成果を発表し、討論を行います。

このような趣旨で、「人工知能学会」と「情報処理学会・知識工学と人工知能研究会」では下記の内容、要領で発表論文を募集しますので、奮ってお申し込み下さい。

開催日 昭和62年11月19日(木)～20日(金)

場 所 東京・機械振興会館、大ホール(地下2階)

内 容 (1) 知識の高次利用と学習

メタ推論、常識推論、学習、認知モデル、知識高次利用の応用、など

(2) 人工知能のシステム化技術

エキスパートシステムの実用化、エンジニアリング応用、データベースとの統合技術、深い知識とモデルの利用、知識ベース管理、など

(3) 知的インタフェース

自然言語理解、画像・音声理解、グラフィック・インタフェース、ユーザモデル、など

共 催 情報処理学会・知識工学と人工知能研究委員会

発表申込方法 7月18日までに、A4用紙を用い、原則として14000字以内(図表を含む)の論文を、コピー2部を添付して下記宛てにお送り下さい。

〒106 東京都港区麻布台2-4-2 保科ビル

情報処理学会「人工知能システムの枠組み」シンポジウム係

採否については8月14日までに通知いたします。最終発表論文原稿の提出期限は10月中旬の予定です。

その他 シンポジウムでは招待講演とパネル討論も予定しています。

本シンポジウムに関するお問い合わせは下記にお願いします。

[人工知能学会]

大須賀節雄 東京大学工学部境界領域研究施設 TEL 03-485-3111(内)309

石崎 俊(シンポジウム幹事)電子技術総合研究所推論システム研究室 TEL 0298-54-5418

米澤 明憲(シンポジウム幹事)東京工業大学理学部情報科学科 TEL 03-726-1111(内)3209

[情報処理学会・知識工学と人工知能研究会]

堂下 修司(主査)京都大学工学部情報工学教室 TEL 075-751-2111(内)5376

石塚 満(シンポジウム幹事)東京大学生産技術研究所 TEL 03-402-6231(内)2651

西田 豊明(シンポジウム幹事)京都大学工学部情報工学教室 TEL 075-751-2111(内)5396